

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 22日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 ヴェルデ ドゥ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	5	2	時間差で1対1の対応をするようにしたり、担当を決め支援を行なったりしている	定員は満たしているが、男児が多いので男性職員も必要と感じる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	DVDを利用しながら研修の機会を持っている	全職員が児童の発達特性等について、研修を受けることが望ましいと感じる。研修後に内容の確認や疑問など話し合い、理解習熟度を確認をしたい
適切な支援の提供	7	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	9	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	10	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせている	7			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		後片付け等が先になり、その日に振り返りをするのが難しく、次の日に確認することが多い。短時間でもその日の支援について話し合えるよう機会を持つようにしていく
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
14	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	15	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	16	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	17	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	18	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	19	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	7			
保護者への説明責任等	20	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	21	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	22	定期的に活動等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	23	個人情報に十分注意している	6	1		意識や注意はしているが、それだけでよいのか不安になる。職員間でしっかり研修等をしていったほうがよいと感じる
	24	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
非常時等の対応	25	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	27	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	28	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	29	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	食物を使用する時には、その都度確認したり、保護者にも再度聞きとりをしている	個々の確認は必要だと思う
	30	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			